

3月14日発売

【北海道新聞社の本 新刊のご案内】

北海道 つながる海と川の生き物

流水減少、海水温上昇、河川環境の悪化が静かに進む中、ホタテ、ウニ、コンブ、シジミのほか、海と川を行き来するイトウ、トビケラなどの水生昆虫、河原に生えるヤナギの生態と現状を、現場をよく知る筆者9人が伝える。

人の手が入ることで成り立っている沿岸部までの漁業種と川の生物の環境的なつながりも解き明かす。



〔内容〕

- はじめに コンブの森がウニを育てる……………川井唯史（稚内水産試験場）
- 1 ホタテガイ育む海と人……………川井唯史（稚内水産試験場）
 - 2 たたかうウニ……………富安 俊（北海道水産技術普及指導所）
 - 3 コンブの森が危ない……………四ツ倉典滋（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター）、幡宮輝雄（北海道水産林務部）、藤森英樹（北海道漁業協同組合連合会）
 - 4 汽水域の宝石 シジミ……………武田康孝（エコニクス主任研究員）
 - 5 イトウの真実……………野本和宏（釧路市立博物館学芸員）
 - 6 水生昆虫のすむ川……………中原 修（和光技研）
 - 7 河原の立役者 ヤナギ……………野手啓行（パシフィックコンサルタンツ）

川井唯史・四ツ倉典滋／編著 B6判 192ページ 部分カラー

◎定価1500円（本体1389円＋税）

◎全道書店、道新販売所のほか、Amazonなどネット書店などで取り扱います。

お問い合わせ……………北海道新聞社出版センター

電話 011-210-5742 FAX011-210-5743 kariya@hokkaido-np.co.jp